



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2022~2023 年度 テーマ

# プロバスだより 第331号

2023 年 6 月 8 日発行

編集・発行 情報委員会

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

## 臨時総会

日 時 令和 5 年 5 月 11 日 (木)

場 所 八王子エルシィ

出席者 33 名

(会員総数 50 名、欠席 17 名)

### 1. 開 会 野口例会委員長

只今より臨時総会を開催します。

### 2. 会長挨拶 池田会長

本日の議案は第 I 号議案のみです。よろしくご審議ください。

### 3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、池田会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った

### 4. 書記・議事録署名人の選出

書記に岩島寛会員、議事録署名人に武田洋一郎会員、泉道夫会員が選任された。

### 5. 議 事

第 I 号議案「東京八王子プロバスクラブ

2023~2024 年度役員人事 (案)」

理事 (敬称略)

下山 邦夫 池田ときえ 有泉 裕子

馬場 征彦 田中 信昭 河合 和郎

持田 律三 一瀬 明 齊藤万理子

塚本 吉紀 土屋三千代

会計監査 (敬称略)

高取 和郎 杉田 信夫

第 I 号議案について議長から説明があり、審議の結果賛成多数で可決承認された。

### 6. 議長解任

## 第 331 回例会

### 1. 開 会 野口例会委員長

第 331 回例会を開催します。本日の出席者数は 33 名、出席率は 65% です。

### 2. 会長挨拶 池田会長

今日はお伝えしたいことが 3 つあります。

ひとつは、次年度の役割分担です。ご存知のようにプロバスの運営は皆さんの協力で成り立っています。会員減少と高齢化で一部の会員に負担が偏る傾向がありますが、事業や作業内容の見直しをして、なるべく負担の少ない活動をしていくように努力しましょう。引き続きご協力ください。

次は本日の卓話、八王子社会福祉協議会常務理事 豊田様のお話です。地域奉仕を目指す私達プロバスクラブにとって、学ぶことの多い内容かと思えます。どうぞよろしくご指導をお願い致します。

最後はいつものことですが、皆さん体調管理に気を付けて季節の変わり目を無事にお過ごしください。

### 3. ハッピーコイン披露

持田副会長からハッピーコイン 15 件の披露がありました。(4~5 ページに掲載)

### 4. パースデーカードの贈呈

5 月生れの会員に池田会員手作りのパースデー



カードが贈られた。

(写真左から橋本会員、有泉会員と会長)

## 5. 5月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンスの当選者は、塚本会員、池田会員、橋本会員でした。

## 6. 卓 話

### 八王子市福祉協議会の今までとこれから

八王子市福祉協議会 常務理事 豊田 聡 様

#### <福祉協議会とは>

社会福祉協議会とは、社会福祉法第 109 条に規定されており、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体で、事業内容は社会福祉を目的とする事業の企画及び実施と活動への住民参加のための援助など」があります。

福祉協の目指すべき方向性は、「住民主体の理念に基づき、地域か抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、福祉コミュニティづくりを行い、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図るなど地域福祉の推進により地域共生社会を目指す」です。

地域福祉とは、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みを“地域ぐるみ”でつくっていくことにあります。自助、互助、共助、公助があります。

#### <福祉協議会の体制>

組織体制としては、事務局長の下に福祉総務課、市民力支援課、支え合い推進課、学童保育課とあり、それぞれの課の諸施設ないしは住民への支援、協力をしております。

社協が行う事業としては、

#### 1. 高齢者のために

高齢者世帯の訪問調査を実施等の事業

#### 2. ひとり親家庭のために

要援護世帯で中学生までの子どもを持つひとり親家庭を高尾山に招待

#### 3. 子どもたちのために

八王子市立学童保育所の管理運営

放課後子ども教室の管理運営

地域子ども支援事業（子ども食堂ネットワーク事務局。40 箇所くらいある）

それぞれの事業を推進している。



## 4. 障害のある方のために

手話通訳・要約筆記協力者の派遣などの事業

ふれあい運動会への協力・援助

福祉まつりへの協力・援助

社会福祉施設等趣味の手作り作品展（展示販売）

への協力・援助

などの事業を実施している。

## 5. ボランティア活動の推進

災害ボランティアセンター開設

令和元年の台風 19 号による災害に対し、浅川と恩方に設置し多くの方の支援を頂いた。

## 6. 困りごとのあるとき

有償家事援助サービスの実施

成年後見制度の利用相談

福祉サービス利用援助・金銭管理・書類等預り

サービスの実施

生活福祉資金の貸付実施

受験生チャレンジ支援貸付実施

などの事業を実施している。

次に、今後の課題対応についてお話しします。

#### <課題と対応>

#### 1. 課題として、

一人ひとりが抱える地域生活課題が多様化し、制度のはざまのニーズや複合的課題が増加しています。

認知症高齢者や若年性認知症の方たち、引きこもりの方たち、「8050問題」など世帯内に複数の課題抱える方たち、虐待や暴力を受けている方たち、発達障害、社会的擁護の環境下にある方たちなど多様な背景や悩みを持つ人たちが、社会のあり方や周囲との関係性などから生きづらさや孤立を深めている状況があります。

加えて、新型コロナの感染拡大の影響は大きく、減収や失業等による経済的困窮から生活困窮者が増加し、社会的孤立が深刻化しています。

#### 2. 対応として

このような状況のなかで、地域の中で行政、社会福祉法人、NPO、町会自治会等が連携し、地域生活課題に対応しなければなりません。

地域福祉の推進が必要となりますが、その核となる役割を果たすのが「はちまるサポート」です。

## ＜はちまるサポート八王子の運営＞

八王子まるごとサポートセンター（愛称はちまるサポート）は、住民の皆様のご生活相談の窓口や地域活動を行なう団体の支援を行うなど、地域のご様々な「チカラ」を引き出しながら地域課題を解決に導く役割を持っています。

はちまるサポートには、地域福祉の専門職であるCSW（コミュニティーソーシャルワーカー）を配置し、この職員を中心に住民の皆様、関係機関と連携し、暮らしやすい地域づくりを行います。

市内12カ所に、「はちまるサポート八王子」が設置されています。

この他に、災害ボランティアセンターも開設しております。

地域の方々の協力を得て活動を進めてゆきたい。今後ともご支援をお願い致します。

講演終了後、いくつかの質問ありました。その中で、活動のための財源はどうしているとの質問に対し、会費と寄付金で賄っていると回答がありました。

終了に際し、杉山会員（研修委員長）は協会の運営は多くの企業の協力に支えられている現状にあることは理解しております。今日は良い機会でありますので、当クラブにはハッピーコイン制度がありますので、その原資より些少ではありますが、寄付いたします。

との発言があり、池田会長より、豊田常務理事へ寄付金（50,000円）が贈られました。



## 7. 幹事報告 持田副会長代行

・本日は卓話で八王子福祉協議会常務理事豊田 聡様に「八王子福祉協議会の今までとこれから」について講話を頂いた。協議会の幅広い活動を改めて知る機会を得ることができ、今後、関心を深めていきたい。

・コロナ禍も収まりつつあり、分類も5類に変更されインフルエンザ相当の扱いになる。活動が積極的に動き始めているが、注意しながら楽しいクラブライフを過ごすよう希望する。

・今期後半より、運営費小委員会を立ち上げた。そ

の現状報告をする。

立ち上げた理由は、単年度では会員の減少、収入減という理由から、収入と支出においてアンバランスがあり、クラブ活動の経常的活動の運営費に心配が予想されたので、どうすべきか小委員会にて検討を開始した。しかし、実態をみると、2020～2022度においての実績から、実際にコロナの影響を受けて諸活動（サロン中止など）を休止、延期、削減などを行ったため、支出が大幅に減少した。そのため、繰越金が年々増加して100万円近くになっていることが判明し、会費などの値上げ、変更などは相応しくないと考えた。従って、この先数年の繰越金の推移を見てから、改めて再検討しようという判断をした。会員減少の中でいかなる価値のある活動が継続できるかは来期後の課題である。

## 8. 委員会活動報告

### (1) 情報委員会

内山副委員長

今月号は岩島会員の卓話、橋本会委員の寄稿文、同好会活動報告が入りましたので、6頁になりました。今回は有泉会員が編集を担当しました。今月のホームページへのアクセス件数は297件でした。前月と比較すると減少しています。

### (2) 会員・研修委員会

杉山委員長

① 次年度7月1日付の会員名簿作成のため現行の名簿を回覧いたします。訂正箇所がございましたら訂正記入をお願い致します。

② 研修委員会PJの4月27日「老年研究会」につきましては、最後の纏め役である座長の杉山が緊急入院中ということになり、ご参加の皆様にご迷惑をお掛けしました。改めて、整理の仕方をお考えようと思っております。

③ 本日皆様のお手許に7月7日の七夕朗読会（いちようホール）のチラシをお配りさせて頂きました。当日はテレビでお馴染みの池上彰さんをお迎えして、（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団理事長の村松真貴子理事長（元NHKアナウンサー）とのコンビで朗読とトークショーが展開されます。プロバスクラブは今後音楽事業等を通じて財団とも関係が深まることと予想されますので、ご理解いただける方はお付き合いを賜れば幸いです。

### (3) 地域奉仕委員会

馬場委員長

①「音楽祭」(3月19日開催)の反省会を4月例会の後に行いました。

関係者9名の出席を頂き、多くのコメントを頂きました。ありがとうございます。来期に生かして行きたいと思えます

②「音楽祭」の予算は4月末で閉まりました。初めての予算執行でしたが幸い収支は若干のプラスとなりました。

③ ボランティア活動の参加辞退について

我がクラブの現状(高齢化と会員の減少)に伴い重荷になって来ている

下記2点のボランティア活動について、関係機関に直接事情を説明申し上げ来季からの参加辞退を申し入れました。本件は4月理事会において承認を頂いた案件です。具体的には、「いちよう祭り祭典委員会」(会長代行・富樫康明様)、「はちおうじ健康づくり推進協議会」(八王子保健所内)です。いずれも当方の事情をご理解頂き了承いただきました。岡本会員と塩澤会員にお骨折りを頂きました。

④ 5月21日(日)にエスフォルタアリーナで「健康フェスタ・食育フェスタ」が開催されます。当クラブから受付業務に7名がボランティア参加します。内容は配布のリーフレットをご覧ください。

#### (4) 交流担当 一瀬担当理事

今月は特に報告することありませんが 懸案の徳山プロバスクラブとの交流、池田会長以下数名でこちらから訪問する段取りを設定することにいたしました。諸活動の情報交換が主目的です。

#### 9. 全日本プロバス協議会 一瀬幹事長

懸案事項の二つに目途がつき一段落という状況です。ひとつは先月にもご報告した五所川原での来年の全日本の総会・大会ですが2024年8月8日(木)に正式に決定いたしました。

過去2回のコロナ禍による中止にもかかわらず、今回再び開催の労をとっていただくことになりました。誠にありがたいことです。ただ遠隔地で「立佞武多」のお祭りとも重なるため宿泊先など早目の予約が必要です。当クラブとしては飯田会員を責任者とし、希望者を募り、貸し切りバスで参加する形をとりたいと考えています。

もう一つは次期の会長クラブの件であります。旭

川プロバスクラブが先方の理事会で受け入れを決定していただきました。正式には全日本の理事会で決定することになりますが、当方の任期は来年6月までということになりました。また今月のクラブ訪問は壱岐プロバスクラブを予定しています。

#### 10. プロバス賛歌

起立、斉唱

#### 11. 閉会

持田副会長

・本日は卓話で八王子市福祉協議会の活動を知ることができた。きめ細かい活動に我々市民も支えられていることが理解できた。

・臨時総会では、新しい来期の理事が選任、承認された。いよいよ来期に向けて始動された。

・来月は、2022年度最後の例会となる、さよなら懇親会を含めてやる予定なので楽しみにしたい。



◆久々にプロ野球の試合をドームで観戦しました。VIP席で美味しい食事、ワインを頂きながらの観戦、しかも巨人と広島で巨人の逆転ホームラン勝ち、最高の試合でした。 飯田富美子

◆コロナが解禁とはいえ高齢者で基礎疾患がある方は注意しましょう!! マスクも自由とはいえ。なかなか外せないです。ビジンからマスクを外しているとか。さらに外すのは難しいですね。 飯田富美子

◆入会させていただきましたので、よろしく願い致します。 河西 成幸

◆昭和57年発行、原色牧野植物大図鑑、定価3万5千円が先日の古書市に1万円以下の値段が出ていたので買ってしまいました。NHK朝ドラの影響かもしれません、ハッピー! 橋本 鋼二

◆囲碁同好会春の大会で1位になりました。

橋本 鋼二

◆大型連休も終わり今年も誕生日を迎えられました。仲良しと5月半ばの千畳敷へローウウェイ旅をする予定です。楽しんできたいと思えます。

有泉 裕子

◆息子(住職)の晋山式が12・13日で行われます。

多くの方々のご協力に感謝 感謝 土井 俊玄

◆全日本の会長として、全国のクラブを順次訪問して回ろうと、一瀬さんと努力中。今週末壱岐へ行ってきます。 田中 信昭

◆先月「心筋梗塞」と「コロナの陽性」のダブル災難に見舞われましたが無事生還しました。

杉山 友一

◆本日の卓話講師は、社会福祉法人八王子市社会福祉協議会常務理事豊田聡様をお招きしております。どうぞご期待下さい。 杉山 友一

◆2023 年の「宇宙の学校」スタートしました。募集を開始しました。順調な申し込みです。

下山 邦夫

◆とりあえずワンコインを 野口 浩平

◆1 年以上先の話ですが、五所川原へのバス旅行（全日本の大会に出てねぶた祭りと東北廻り）を企画します。ふるって参加下さい。予約は早急に必要です。 一瀬 明

◆コロナとの共生、本格的にスタートです。“自らの判断で”。気分的には楽ですが、安全運転で。 一瀬 明

◆池田年度も押し迫ってきました。あと 2 カ月、コロナも収まりつつありますので、全てをやりきりたいと思います。三多摩の合同ゴルフコンペも再開されます。グリーンで頑張ろう！ 持田 律三

“”



### <まさかの二病 命からがら>

杉山 友一

年よりお若いですね、その年での数々の社会活動には敬意を表しますよ、そんな煽てに乗っての日常に遂に鉄槌が下りました。時には生死を分ける「心筋梗塞」と、今更ながらの「コビッド 19 コロナ陽性」のダブル宣告を受けたのです。何という間の悪さでしょうか…。さわさりながら、よく考えてみれば、心臓受難については予兆がなかったわけではないのですが、極め付きは、4 月の 23 日市議会議員



選挙の投票で市役所（自宅から 1 キロ弱）に行き無事投票を終えての帰り道、今までとは全く違った違和感が胸を走ったことでした。翌 24 日にはかかりつけ医の診察を受けたところ、事態は急展開で、かかりつけ医と館町の八王子医療センターとの情報交換がなされて、その場で救急車が呼ばれて、即入院、即手術室への直行便となりました。時を置かず、チーフドクターからは、これから進める施術は 2 時間以内を予定します。検査行程から進んで、悪い部分があれば積極的に正常復帰を目指した処置を講じますが、今の前段階から 100%の成功を保証するものではありません、との説明を受ける、命を神の手に委ねる瞬間とはこういうことかと合点します。

手術はお陰様で無事終わり、医師からは、手遅れにならなくて本当に良かったです、ぎりぎりのタイミングでした。とのコメントを頂き、冠動脈から引き出された血栓を見せられました。九死に一生を得た喜びの瞬間でした。

さて、術後は ICU の個室に移されましたが、ここでは医療チームの大変さを目の当たりにします。当方がコロナ陽性者であるために、当方に関わる全てのスタッフは、コロナの防御服の着用などを含めて諸手続きを踏みますから、二倍も三倍も手数がかかる患者なのです。言ってみれば、当方は大変迷惑千万な患者でした。

ICU での一晩目は安静を要請され、うつらうつらと眠りにつきましたが、何と何と、かつてのシニアダンデーズ仲間の故大高秀夫会員が夢枕に立ったのです。彼は血管動脈瘤の除去手術を受けるために（平成 29 年）この病院にお世話になり手術は成功し、ICU での管理養生を経て一般病棟に移ったところで事態が急変、一気に西方浄土への旅立ちをされています。ちょっと病院に行ってくるよ、と気軽に言って別れた彼の一言が今更ながらに愛おしく思い出されました。俺の分までもっと生きろと言ってくれているようで、ベッドの上から改めて故人に手を合わせ、ご冥福をお祈りした次第です。

さて、ICU での三日目、患者杉山はコロナ病棟に移されての二病管理となりましたが、当方の様に咳や熱などコロナ症状の一切無い者にとって、管理される側の日々は大変でした。面会禁止はもとより、まず病室以外は一切外出禁止ですから当方は術後の

## 俳句同好会便り

私の一句〈五月の句会から〉

河合 和郎

俳句は季節を切り取り、17文字で森羅万象を描き出す世界で最も短い文芸と言われる。感動をそのまま五七五に。プロバスの俳句同好会は136回もの句会を重ねている。さて今回の作品は。

植木市小さき値札に眼鏡かけ 野口 浩平

なぜか植木市の値札は小さい。作者は思わず眼鏡を取り出して値札を見る。日常感ある一句が。

海棠や垣根を分けてご挨拶 東山 榮

お隣さん同士が花を愛でつつ世間話。そこには穏やかな日常の生活が。17文字の表現力の多様さ。

天空に音を消したる遠雪崩 矢島 一雄

登山家でないと目撃できないような雄大な自然現象が描けた。中七の遠景描写が見事。

天蚕のまゆ薄みどり若葉風 池田ときえ

天蚕は薄緑の美しい色合いが特徴。この繭から取れた生糸は珍重される。季語の斡旋が上手い。

次また次夏空に舞ふ軽気球 田中 信昭

全国各地でバルーン大会が開催される。「次から次」で気球の数が想像できる。色もまた見えてくる。

大気感ず野に心地よき昼寝かな 下山 邦夫

宇宙の中の人間、そんな思いの作者が広野で大の字の昼寝を。稀有壮大な視点からの一句が。

武者幟八岳麓にはためきて 飯田富美子

作者の十八番のふる里シリーズ。今回は五月の武者幟が登場。八ヶ岳山麓の雄大な景が描けた。

大き夢抱く少年若葉風 馬場 征彦

「青年よ大志を抱け」の少年版。少年の遠くを見る眼に大きな夢が。若葉風の季語が効果的。

二つ三つ拾ふ香りや桐の花 河合 和郎

桐の花は上品な良い香りがする。職場の駐車場に桐の大木があり、花を拾っては香りを楽しんだ。

編集後記

八王子市福祉協議会は、私たちの身近な問題に取り組みされていることが常務理事のお話で理解できました。

情報・内山

歩行リハビリが予定通りに進みません。体重も減り体力減退が目に見えてきました。一時は血中酸素濃度が急低下し、心臓負担を考慮して酸素吸入を余儀なくされました。そんなこんなでコロナで受難の10日間の拘束期間で神経を擦り減らしながら、漸くにして、今、娑婆世界の空気を満喫しているところです。この世間を騒がす難物コロナ感染症も5月8日からインフルエンザ並みの扱いですが果たしてこの先どんな道筋を辿るのでしょうか。兎角世間に好事魔多し、皆さま、くれぐれもご用心をお願い致します。



鞦韆 (シュウセン)

プロバスだより第316号の「俳句同好会便り」の欄に、河合宗匠が詠われた「ふらここや一人ぼっちの風小僧」と言う句がありました。「ふらここ」は「ぶらんこ」のこととは知りませんでした。

茶道の稽古では茶室の床に掛軸と茶花が飾られる。掛物を詠むことも茶道での心得の一つです。

稽古のある日、茶席の床に次の掛物が飾られていた。

「春宵一刻値千金 花有清香月有陰」

読むことは出来ても誰の漢詩か解りませんでした。

能楽の世界では万葉集や勅選和歌集や漢詩の一部を謡曲に採り入れていることの多さが目立ちます。能「西行櫻」にも「春宵一刻値千金、花に清香月に陰、春の夜の、花の陰より明けそめて、鐘をも持たぬ、別れこそあれ、別れこそあれ」と引用している。

「春宵一刻値千金 花有清香月有陰」は北宋の詩人蘇軾（号は蘇東坡）の「春夜」の前半部で意味は、「春の夜はほんの短い一刻が千金の値打ちをもつ。花は清らかに香り月はおぼろに輝く」です。

漢詩形の一つに四句からなり、起承転結の構成をとる五言のものと七言のものとがあり、この漢詩は七言絶句です。従って、後半は次のようになります。

かかんろうだいこえさいさい しゅうせんいんらくよるちんちん  
「歌管楼台声細細 鞦韆院落夜沈沈」

意味は「楼閣のにぎやかな歌や笛も、今はか細く聞こえるばかり。ブランコの置かれた中庭に夜はしんしんと深けてゆく」です。ここで使われている「鞦韆」はまさしくブランコのことなのです。

一つの言葉がいろいろな状況や文学の中で使われていることを学びました。

(雅)



